

【レジリエンス】

レジリエンスとは、復元力、回復力、弾力を意味する言葉です。精神医学や心理学では、「困難な状況にもかかわらず、うまく適応する過程や能力、および適応の結果のことで、精神的回復力」のことをレジリエンスと言うのですが、最近では、教育界でも使われるようになりました。子供たちは日々の生活の中で、ストレスや様々な困難な状況に直面することがあります。悩みといえば、事故、自然災害、感染症、両親のことや、転居などもそうです。このような環境や精神的に落ち込んだ状態に、柔軟に対応し回復する力がレジリエンスなのです。学校の活動の中にはレジリエンスを育むための活動が多くあります。教科指導、学級活動、行事、部活動などを通して、自分自身や他者に関すること、困難を克服すること、目標をもちチャレンジすることなどの力が育まれています。人間関係も大切な要素です。人間関係が安定していると、友達や教員などの人

たちに支えられて立ち直ることができるからです。

また、学習指導要領や様々な答申の中にもレジリエンスに通ずる内容が示されています。例えば、小学校学習指導要領総則の中には「複雑で予測困難な時代の中でも児童一人一人が、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながらよりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができるよう教育を通して必要な力を育んでいくこと」と記されています。「生きる力」の基盤であるレジリエンスを、学校教育全体を通して子供たちに高めていくことが求められているのです。

全公教 会計 東京都江戸川区立本一色小学校 副校長 井上由美

参考文献資料

みんなの教育技術

文部科学省ホームページ

教育用語解説



Educasphere 2025 Vol.15

発行 2025年2月1日
編集 全公教機関誌編集委員会
著作権所有 全国公立学校教頭会
会長 松野 博文
〒105-0002
東京都港区愛宕1-6-7
愛宕山弁護士ビル401号
電話 03-3436-4868
<https://www.kyotokai.jp>

印刷・製本 壮光舎印刷株式会社
表紙写真 photographer 本郷 剛

編集後記

先日、教育実習生を本校で迎えました。指導担当になった先生も、研修の一か月でした。授業に臨む姿勢や児童に接する態度等、指導をとおして学ぶ部分が多くあったことと思います。最後の日の実習生のお話を聞く多くの児童の目には大粒の涙があふれ、その姿を見た指導担当の先生の間からは涙がこぼれ、間近にいた職員の間も潤んでいました。

巷では、教員確保が難しく、管理職が担任になっていることや採用試験を前倒しすることなどを耳にします。また、それと相反するように、ある調査期間が本年2月（一年近く前になりますが）に公表した中学生が「将来なりたいと思っているもの」には、「学校の教師・先生」が4位になっていました。

ぜひ、教職のwell-beingとともにやりがいや素晴らしさを伝える一端を担う機関誌でありたいと思います。

全公教 広報部 茨城県神栖市立深芝小学校 教頭 郡司博子